

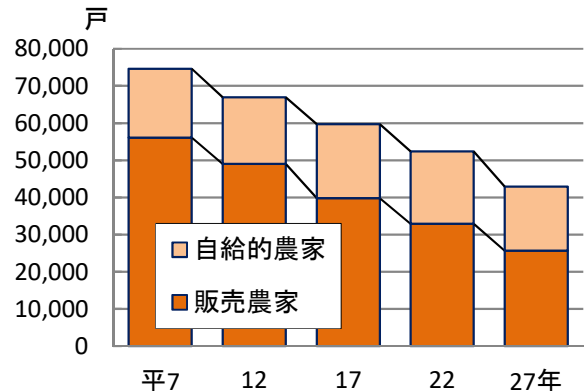
# 農林水産業

## 農家数

平成27年2月1日現在の総農家数は4万2,921戸で、前回調査の平成22年に比べ9,434戸(18.0%)減少しました。総農家数を自給的農家と販売農家の別にみると、自給的農家は1万7,225戸、販売農家が2万5,696戸で、平成22年に比べ自給的農家が2,165戸(11.2%)、販売農家は7,269戸(22.1%)減少しています。

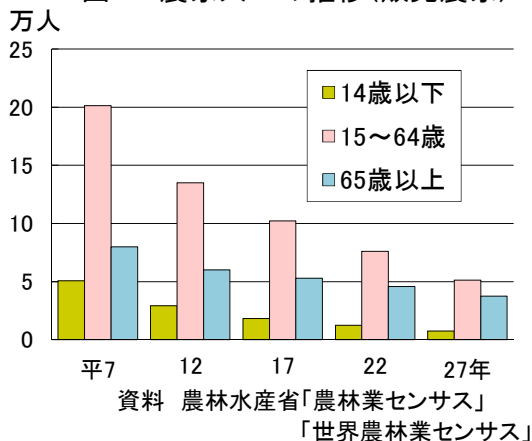
販売農家を主副業別にみると、主業農家が2,520戸(構成比9.8%)、準主業農家が4,763戸(同18.5%)、副業的農家が1万8,413戸(同71.7%)となっています。

図14 総農家数の推移



資料 農林水産省「農林業センサス」  
「世界農林業センサス」

図15 農家人口の推移(販売農家)



資料 農林水産省「農林業センサス」  
「世界農林業センサス」

## 農家人口(販売農家)

平成27年2月1日現在の農家人口(販売農家)は9万6,259人で、前回調査の平成22年に比べ3万8,025人(28.3%)減少しています。

年齢別では、14歳以下が7,360人(構成比7.6%)、15~64歳が5万1,316人(同53.3%)、65歳以上が3万7,583人(同39.0%)で、平成22年に比べ、14歳以下が5,087人、15~64歳が2万4,753人、65歳以上が8,185人の減少となっています。

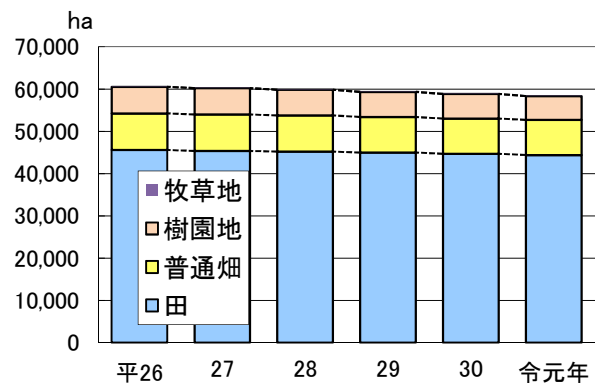
## 耕地面積

令和元年の耕地面積は5万8,400haで、前年に比べ500ha(0.8%)減少しました。

種類別にみると、田4万4,400ha、畑1万4,000ha(普通畑8,320ha、樹園地5,630ha、牧草地26ha)となっています。

※原数が4桁の場合は下1桁、原数が5桁の場合は下2桁を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

図16 種類別耕地面積の推移



資料 農林水産省「面積調査」

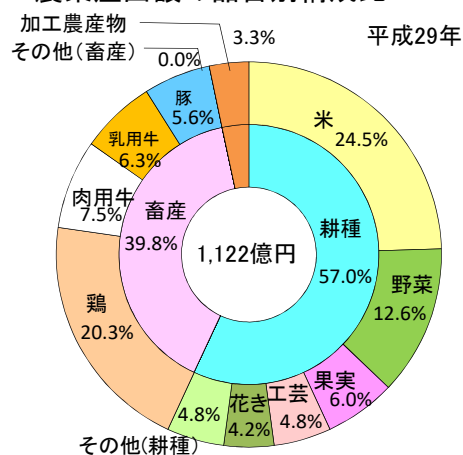
### 農業産出額

平成29年の農業産出額は1,122億円で、前年に比べ15億円(1.4%)増加しました。

種別割合をみると、耕種57.0%、畜産39.8%、加工農産物3.3%となっています。

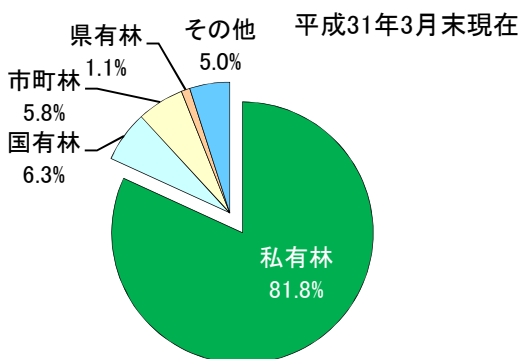
また、品目別では米が最も多く275億円(構成比24.5%)で、以下、鶏228億円(同20.3%)、野菜141億円(同12.6%)、肉用牛84億円(同7.5%)などとなっています。

図17 農業産出額の品目別構成比



資料 農林水産省「生産農業所得統計」

図18 森林保有形態別割合



資料 県森林・林業経営課

### 林業

平成31年3月末現在の森林面積は37万2,353haでした。

保有形態別にみると、私有林が30万4,726haと大半を占め、以下、国有林2万3,519ha、市町林2万1,702ha、県有林3,938haなどとなっています。

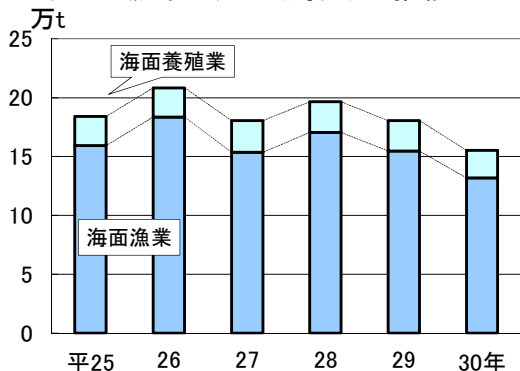
### 漁業

平成30年の漁業総生産量のうち、海面漁業は13万1,881tで、前年に比べ2万2,791t(14.7%)減少しました。海面養殖業は2万3,544tで、前年に比べ2,399t(9.2%)減少しました。内水面漁業は176tで前年に比べ4t(2.2%)減少、内水面養殖業は

224tで109t(32.7%)減少しました。

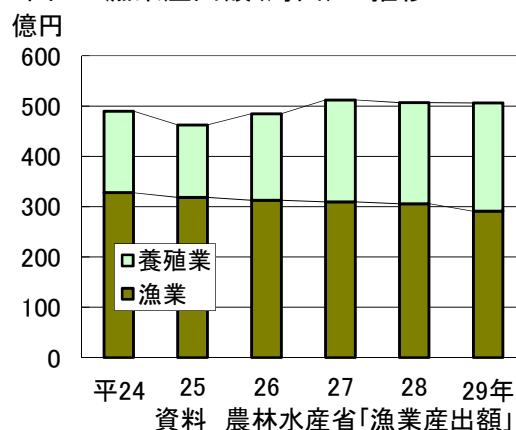
また、海面漁業の29年の産出額は290億9,600万円で、前年に比べ14億9,700万円(4.9%)減少しました。海面養殖業の産出額は215億5,800万円で、前年に比べ14億5,400万円(7.2%)増加しました。

図19 漁業生産量(海面)の推移



資料 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

図20 漁業産出額(海面)の推移



資料 農林水産省「漁業産出額」